2019 RACE REPORT

ThreeBond

Vol.04

第９戦/第１０戦
６月２２日(土)/６月２３日(日)
スポーツランドSUGO

〒989-1301 宮城県柴田郡村田町菅生 6-1
TEL: 0224 (83) 3111
https://www.sportsland-sugo.co.jp/news/

FUJI Xerox 富士ゼロックス多摩株式会社
QMI beyond the invisible
URC
KAJIMA
KS Material Co.
NEC
BANDO
EXEDY
NGK SPARK PLUGS
SUNTORY BOSS COFFEE
TOYOBO
zahren
RAYS
SHIBA
KRS KTEL RACE SERVICE
Swift
ODYSSEY
WPC
SP SP AIR
TONE
PATRICK
DESCENTE
リボビタンD

2019 RACE REPORT

ThreeBond

難関の予選…

天　候：曇り
気　温：２４℃

全日本 F3 選手権シリーズ第 4 大会（第 9 戦、第 10 戦）が、6 月 22 日（土）～23 日（日）にかけて宮城県のスポーツランド SUGO で開催された。

公式日程に先立ち、好天の 20 日（木）に 1 セッション、曇天の 21 日（金）に 2 セッションの専有走行が設けられた。#12 大津選手はセッションごとに 1 分 14 秒 393、1 分 13 秒 758、1 分 13 秒 180 とタイムを縮め、総合結果ではトップから 0.544 秒後れの 8 番手。#13 三浦選手もセッションごとに 1 分 15 秒 578、1 分 14 秒 831、1 分 14 秒 417 とタイムを縮め、総合結果ではトップから 1.781 秒後れの 12 番手だった。

#12 大津選手　予選８番手

#13 三浦選手　予選１２番手

▽公式予選

今にも雨が降り始めそうな曇天の 6 月 22 日（土）、公式予選は午前 10 時 15 分に始まった。1 大会 2 レースの本大会は 30 分間の予選セッションで記録したベストラップタイムで第 9 戦、セカンドベストラップタイムで第 10 戦のスターティンググリッドが決まる。

ドライコンディションとはいえ前夜に降った雨の影響で路面状態の変化も予想される中、#12 大津選手と#13 三浦選手は開始早々から 1 セット目の新品タイヤでコースイン。#12 大津選手は 1 分 13 秒 883 で 6 番手、#13 三浦選手は 1 分 15 秒 019 で 10 番手につけた。しかし、直後にライバルチームの 1 台が SP アウト・コーナでクラッシュして赤旗中断。セッションは午前 10 時 34 分に再開され、終了時刻は午前 10 時 50 分とされた。

中断の合間、#12 大津選手の車両はアンダーステア対策として、リアのサスペンションを硬めに調整した。また、#13 三浦選手の車両は同じアンダーステア対策ながら、ノーズが入りやすくなるようフロントのサスペンションを微調整した。#13 三浦選手は残り 11 分で、#12 大津選手は残り 10 分で、それぞれ 2 セット目の新品タイヤで再びコースイン。残り 7 分の時点でサーキット上空から雨粒が落ち始める中、#12 大津選手は 1 分 13 秒 737 の自己ベストを更新するも、#13 三浦選手は自己ベストを更新できなかった。この結果、#12 大津選手は第 9、10 戦とも 8 番グリッドを確保、#13 三浦選手は第 9、10 戦とも 12 番グリッドを確保した。

＜第９戦＞予選結果

Pos	No	Driver	Time
1	36	宮田 莉朋	1'12.604
2	37	小高 一斗	1'13.105
3	7	Charles Milesi	1'13.105
4	65	Enaam Ahmed	1'13.142
5	11	Sacha Fenestraz	1'13.190
6	2	大湯 都史樹	1'13.223
7	8	片山 義章	1'13.377
8	12	大津 弘樹	1'13.737
9	35	河野 駿佑	1'13.904
10	51	Ameya Vaidyanathan	1'14.022
12	13	三浦 愛	1'15.019

＜第１０戦＞予選結果

Pos	No	Driver	Time
1	36	宮田 莉朋	1'13.147
2	2	大湯 都史樹	1'13.256
3	37	小高 一斗	1'13.379
4	11	Sacha Fenestraz	1'13.428
5	65	Enaam Ahmed	1'13.478
6	8	片山 義章	1'13.503
7	7	Charles Milesi	1'13.845
8	12	大津 弘樹	1'13.883
9	35	河野 駿佑	1'14.063
10	51	Ameya Vaidyanathan	1'14.077
12	13	三浦 愛	1'15.307

FUJI xerox 富士ゼロックス多摩株式会社 | QMI beyond the invisible | URC | KAJIMA | KS Material Co.
NEC | BANDO | EXEDY | NGK SPARK PLUGS | SUNTORY BOSS COFFEE | TOYOBO
zahren | RAYS | SHIBA | KRS KTEL RACE SERVICE | Swift | ODYSSEY | WPC | SP SP AIR | TONE | PATRICK | DESCENTE | リボビタンD

2019 RACE REPORT

ThreeBond

天　候：曇り
気　温：２４℃

第９戦　決勝 Race

見事なオーバーテイク！

▽第９戦

6 月 22 日（土）午後 3 時 10 分、18 周の第 9 戦決勝レースが始まった。

鋭いスタートを切った 8 番グリッドの#12 大津選手は、先行する 2 台が第 1 コーナーで失速したスキをついて 1 周目に 7 番手へ順位を上げた。更に 2 周目には先行する 1 台を抜いて 6 番手へ、その後、もう 1 台の失速も手伝って 5 番手へと早くもポイント獲得圏内へ到達した。

4 周目の第 1 コーナーで後続の 2 台が絡んで 1 台がコース脇に停止したためセーフティーカー（SC）が導入。7 周終了時点で SC 退去となりリスタートでの追い越しが期待されたが、#12 大津選手は加速のタイミングを逸した。

10 周目には 3 番手を走行中の 1 台がエンジンのオーバーヒートでピットイン、自動的に 4 番手へと浮上。上位 3 台からはやや引き離され、背後からは常に約 1 秒差でプレッシャーを受けるも、危なげない場面は一度もなく#12 大津選手は 4 位でチェッカーフラッグを受けた。

一方、12 番グリッドの#12 三浦選手はスタート良くひとつ順位を上げて 1 周目を終えた。

先行する 1 台のリタイアもあって 10 周目には 10 番手へ浮上。#13 三浦選手にとってスポーツランド SUGO は身体的に厳しいはずだが、先行する 2 台との差を約 3.6 秒に収める力走を見せて 10 位でチェッカーフラッグを受けた。

第９戦　決勝結果

Pos	No	Driver	Time
1	36	宮田 莉朋	28'24.149
2	37	小高 一斗	28'30.295
3	11	Sacha Fenestraz	28'31.087
4	12	大津 弘樹	28'36.804
5	2	大湯 都史樹	28'38.191
6	65	Enaam Ahmed	28'38.848
7	8	片山 義章	28'40.118
8	35	河野 駿佑	28'46.431
9	51	Ameya Vaidyanathan	28'47.170
10	13	三浦 愛	28'50.343

FUJI Xerox 富士ゼロックス多摩株式会社 | QMI beyond the invisible | URC | KAJIMA | KS Material Co.
NEC | BANDO | EXEDY | NGK SPARK PLUGS | SUNTORY BOSS COFFEE | TOYOBO
zahren | RAYS | SHIBA | KRS KTEL RACE SERVICE | Swift | ODYSSEY | WPC | SP SP AIR | TONE | PATRICK | DESCENTE | リポビタンD

2019 RACE REPORT

ThreeBond

天　候：晴れ
気　温：２４℃

第１０戦　決勝 Race

痛恨のエンジンストール

▽第 10 戦

6 月 23 日（日）午前 10 時 20 分、25 周の第 10 戦決勝レースが始まった。

7 番グリッドのドライバーが出走しなかったため、実質的に#12 大津選手は 7 番手、#13 三浦選手は 11 番手からレースを開始することとなった。

#12 大津選手は無難なスタートでポジションをキープした。一方、#13 三浦選手はスタートでエンジンストール、ひとつ順位を落として 2 周目に突入した。#13 三浦選手はその第 1 コーナーで前を走る車両の内側に果敢に滑り込ませて、競り合いながら 11 番手を奪還。この際、#13 三浦選手のクルマのフロントウイング左側が僅かに相手のクルマに当たりリタイアさせたため、レース終了後にコントロールタワーから事情聴取の呼び出しがあったものの、最終的にはレーシングアクシデントとして処理された。

このアクシデントでレースは SC 導入、4 周終了時点で SC 退去となったがリスタートでの順位変動はなかった。レースはしばらく膠着状態が続いたものの、迎えた 18 周目に第 3 コーナーで#13 三浦選手の前を走っていたクルマがコースオフ。2 度目の SC 導入となった。これで#13 三浦選手は 10 番手にポジションを上げ、SC 退去後は良いラップタイムを刻みながらチェッカーフラッグを受けた。

一方、終止にわたり 7 番手を走行した#12 大津選手は、後ろをジリジリと引き離す一方で前からはジリジリと遅れるという展開となった。2 回の SC 導入が唯一のチャンスと言えたがそれは活かせないままに終わり 7 位でチャッカーフラッグを受けた。

第 9 戦を 4 位で終えた#12 大津は選手はドライバー部門でシリーズポイント 3 点を加え、チームもシリーズポイント 3 点を加えた。

シリーズ第 5 大会は、7 月 13 日（土）～14 日（日）、静岡県の富士スピードウェイで 1 大会 2 レースイベントとして開催される。

第１０戦　決勝結果

Pos	No	Driver	Time
1	2	大湯 都史樹	42'01.176
2	36	宮田 莉朋	42'01.482
3	11	Sacha Fenestraz	42'02.278
4	65	Enaam Ahmed	42'03.323
5	37	小高 一斗	42'03.944
6	8	片山 義章	42'04.781
7	12	大津 弘樹	42'06.088
8	35	河野 駿佑	42'07.395
9	51	Ameya Vaidyanathan	42'08.074
10	13	三浦 愛	42'09.266

FUJI xerox 富士ゼロックス多摩株式会社
QMI beyond the invisible
URC
KAJIMA
KS Material Co.
NEC
BANDO
EXEDY
NGK SPARK PLUGS
SUNTORY BOSS COFFEE
TOYOBO
zahren
RAYS
SHIBA
KRS KTEL RACE SERVICE
Swift
ODYSSEY
WPC
SP SP AIR
TONE
PATRICK
DESCENTE
リポビタンD

2019 RACE REPORT

ThreeBond

ドライバーコメント

▽ ＃１２　大津 弘樹選手

第９戦決勝ではタイヤが厳しくなりそうな雰囲気を予選で感じたので、グリッドでリアのサスペンションを少し柔らかくしました。オープニングラップ早々にひとつ順位を上げられたのは、一歩引いた目で前の競り合いを見ていたからで、うまくすり抜けられました。前のクルマがピットへ入ったことでも自動的に順位は上がりました。ペースはトップ集団と遜色ない周もありました。とはいえ、最終的にトップ３からは離されてしまったので、まだまだ改善しなければいけません。それでも４位で終われて良いレースはできました。第１０戦ではクルマのバランスが前日よりも良くなっていましたが、レース序盤はなかなかペースが上がらず、中盤になってようやくトップグループと同じレベルのタイムに乗せられました。もっと早めにペースを上げることが次へ向けての課題です。マシンだけではなく自分自身のドライビングでもその点は見直さなくてはいけません。

▽ ＃１３　三浦 愛選手

第９戦の決勝レースでは、おそらくスーパーフォーミュラが走った影響で路面が変わり、オーバーステア傾向になりました。でも私はこの週末アンダーステア傾向に悩んでいたので、逆にステア特性が良い方向へ変わったことに救われました。その結果、木曜日から走ってきた中ではいちばん良いバランスで走れました。レース後半、自己ベストを更新し続けているということは分かっていましたが、レース序盤で前に車両がいたことでダウンフォースが抜けたときにペースが上げられないという課題が見えたということかもしれません。第１０戦のスタートでは、自分自身のミスでエンジンストールしてしまいました。ここは抜けないサーキットなので、スタートのミスは痛かった。それでも序盤、前のクルマについていくのは余裕だったので抜きに行ったのですが…。接触してしまいました。後半のペースは前の集団と戦えるレベルにあったと思います。この良い状態で次戦の富士大会に臨みたいです

FUJI xerox 富士ゼロックス多摩株式会社 | QMI beyond the invisible | URC | KAJIMA | KS Material Co.
NEC | BANDO | EXEDY | NGK SPARK PLUGS | SUNTORY BOSS COFFEE | TOYOBO
zahren | RAYS | SHIBA | KRS KTEL RACE SERVICE | Swift | ODYSSEY | WPC | SP SP AIR | TONE | PATRICK | DESCENTE | リボビタンD

2019 RACE REPORT

ThreeBond

＊６月２６日現在、#36 に抗議が提出されているため第１０戦結果は保留。

▽ドライバーランキング

順位	ドライバー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計	点差
		鈴鹿		AP			岡山			SUGO		富士		SUGO			もてぎ			岡山			
1	Sacha Fenestraz	10	0	12	12	11	11	9	8	5												78	ー
2	宮田 莉朋/Ritomo Miyata	9	12	0	0	1	6	10	5	12												55	23
4	大湯 都史樹/Toshiki Oyu	2	3	7	7	7	1	1	1	2												31	47
3	片山 義章/Yoshiaki Katayama	0	0	0	0	3	7	3	10	0												23	55
5	Enaam Ahmed	5	7	5	5	DSQ	0	0	DNF	1												23	55
7	大津 弘樹/Hiroki Otsu	1	0	2	2	5	0	DNF	0	3												13	65
	三浦 愛/Ai Miura	0	0	0	0	0	0	0	0	0												0	78

*DNS : Do Not Start 棄権　*DNF : Do Not Finish　リタイア　*DSQ : Disqualified　失格
*1 位 10 ポイント、2 位 7 ポイント、3 位 5 ポイント、4 位 3 ポイント、5 位 2 ポイント、6 位 1 ポイント
PP(ポールポジション)、FL(ファステストラップ)は 1 ポイント追加

▽チームランキング

順位	チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計	点差
		鈴鹿		AP			岡山			SUGO		富士		SUGO			もてぎ			岡山			
1	B-MAX RACING with motopark	10	7	10	10	10	10	7	7	5												76	ー
2	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	7	10	1	1	2	5	10	5	10												51	25
3	TODA RACING	2	3	7	7	7	1	1	1	2												31	45
4	OIRC team YTB	0	1	0	0	3	7	3	10	0												24	52
5	ThreeBond Racing	1	0	2	2	5	0	0	0	3												13	63
6	RS FINE	0	2	3	3	0	0	0	0	0												8	68

FUJI Xerox 富士ゼロックス多摩株式会社 | QMI beyond the invisible | URC | KAJIMA | KS Material Co.
NEC | BANDO | EXEDY | NGK SPARK PLUGS | SUNTORY BOSS COFFEE | TOYOBO
zahren | RAYS | SHIBA | KRS KTEL RACE SERVICE | Swift | ODYSSEY | WPC | SP AIR | TONE | PATRICK | DESCENTE | リボビタンD